

(別表第1の3)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成 21 年 3 月 5 日

【評価実施概要】

事業所番号	3870103714		
法人名	株式会社 エイジングウェル		
事業所名	グループホーム あゆーら		
所在地	松山市枝松6丁目3-15		(電話) 089-945-1126
管理者	河内 望		
評価機関名	愛媛県社会福祉協議会 利用者支援班		
所在地	愛媛県松山市持田町三丁目8-15		
訪問調査日	平成 20 年 11 月 6 日	評価確定日	平成 21 年 3 月 9 日

【情報提供票より】 (平成 20 年 9 月 25 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15 年 11 月 20 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	20 人	常勤 12 人, 非常勤 8 人, 常勤換算 6.5 人	

(2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	29,000 円	その他の経費(月額)	10,000 円
敷金	有()円 ○ 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有()円 ○ 無	有りの場合 償却の有無	
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり	1,100 円	

(3) 利用者の概要 (平成 20 年 9 月 25 日事業所記入)

利用者人数	18 名	男性 3 名	女性 15 名
要介護 1	3 名	要介護 2	4 名
要介護 3	6 名	要介護 4	5 名
要介護 5	名	要支援 2	名
年齢	平均 81.3 歳	最低 68 歳	最高 94 歳

(4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算

指定	あり	指定介護予防認知症対応型共同生活介護
指定	なし	指定認知症対応型通所介護
届出	あり	短期利用型共同生活介護
加算	あり	医療連携体制加算

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

運営法人は、「赤ちゃんからお年寄りまでひとりひとりが充実した生活を過ごせるようにお手伝い」との考えのもと、多種の事業所を運営し、利用者の様々なニーズに対応している。法人内に事業所が多いため、事業所間での情報共有や相互交流ができています。向かいのマンションの子どもたちが、ホームで飼っている2匹の犬を見がてらよく寄ってくる。ホーム前には公園があり、子どもたちの遊ぶ声が聞こえ、利用者も穏やかに見守っている。

【質向上への取組状況】

▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目: 外部4)
改善計画シートは作られていない。理念の中に地域を含むという点について話し合ったが、「笑顔の絶えない家づくり」の中に気持ちを込めているので、理念の変更はしないで、現在の理念を大切にしている。
▼ 今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)
職員全員が各自で自己評価に取り組み、ミーティングの際に持ち寄って意見を出し合い、それを管理者がまとめている。
▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)
2か月に1回開催している。行事報告を中心に、利用者の生活の様子なども報告している。他のグループホームと運営推進会議に参加し合っており、互いに助け合いながらサービスの質の向上を目指している。
▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)
家族からの意見があったと職員から報告があれば、管理者が電話等で意見を聞くなどして、即対応し、運営に反映させるよう努めている。
▼ 日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)
ホーム周辺はマンションが多く民家はあまりないが、散歩の際に挨拶を交わしたり、ホーム前の公園に遊びに来た子どもたちと交流している。PTAの方がホームの花火大会や夏祭りに参加してくれている。

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
 - 各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
 - 「取組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

グループホームあゆーら

(ユニット名)

Aユニット

記入者(管理者)

氏名

管理者・河内望/ホーム長・大野定治

評価完了日

平成 20 年 10 月 15 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 笑顔、挨拶を通じて、地域住民との交流を深める一環として、昨年より夏祭りを開催している。雨が降ったにもかかわらず、昨年を上回る人出で大成功であった。 (外部評価) 「笑顔の絶えない家づくり」という理念を実行するためには、ホーム内の生活だけでは不可能であり、「地域の中での生活」を支援することにつながると捉えている。言葉として「地域」は入っていないが、職員全員が理念の意味を理解している。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 毎月一回実施されるミーティングにて、理念・目標を確認し合い、実践に取り組んでいる。 (外部評価) 各ユニットの壁に掲示し、朝の申し送り時やミーティング時等に確認し合っている。地域の中でその人らしく暮らしていくケアの実践のため、日々の取り組みを具体化することが望まれる。	※	理念を実践するための具体的な目標を立て、その中に地域の中での暮らしという視点を盛り込んでいくことを期待する。
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) グループホーム便りや、パンフレットに載せたりして、運営推進会議で紹介したり、ホーム入り口の目立つところに掲示して、理解を促している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) ホームに隣接した公園で遊ぶ子どもやその親御さんが、トイレを借りに来たり、怪我の治療に来たりして、気軽に声を掛けていただけるようになった。		
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 町内会に加入しており、回覧版を回したり、会合に参加したりしている。町内会長さんとも親しくさせていただき、ホームの夏祭りの場所として、区で管理している公園を貸していただいた。 (外部評価) 町内会長を通じて、また運営推進会議などで地域の情報をもらっている。地区の行事は案内してもらっているので、積極的に参加するようにしている。		
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 法人として、デイサービス・小規模多機能・介護タクシー等の福祉サービスを運営しているので、当ホームを窓口として地域住民の相談を受け付けている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 評価は職員全員で取り組んでおり、意見交換ができる体制をとっている。 (外部評価) ホームの現状を把握するためのいい機会として捉え、日々の振り返りとして取り組んでいる。改善点については、ミーティングや運営推進会議等で意見を聞いている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 前回の評価確定後の運営推進会議で議題にあげ、報告し話し合い、メンバーさんから、地元との関わりには、惜しみなく協力する等のありがたいお言葉をいただいた。 (外部評価) 地区の行事など、地域の情報収集の場として活用している。近隣のグループホームからも参加してくれるので、同業者の意見を聞く場ともなっている。		
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 市が主催する研修会には、すすんで参加するようにしている。 (外部評価) 研修会の案内があったり、困ったに時は指導や助言があるなど、密に連携が取れる関係を構築している。	※	今後、ホームに来てもらえる機会をつくっていききたい。
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 今年度、2名の利用者が成年後見制度を利用した。ご家族や司法書士、裁判所、医師等と打合せを行った。		
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) ミーティング等で、事例等を参考にして話し合いを行い、虐待防止を徹底している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 行なっている。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 利用者の意見、不満、苦情は、職員が必ず申し送りノートに記入し、毎朝の申し送りにて話し合いをする。重要な場合には直接、管理者・ホーム長に伝えて対処している。		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 毎月、請求書と一緒に、近況報告・受診状況（健康状態）ホーム便り（2ヶ月分の活動やイベントの写真掲載）を同封して報告している。 (外部評価) 利用者の健康状態や日々の暮らしぶりなどを、毎月請求書とともに書類で報告している。変化があればその都度電話などで連絡している。金銭管理については領収書等を個別に整理し、適切に管理している。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 意見、不満、苦情を申し出る場を契約書に明記している。また、ホームにも窓口、担当者を掲示している。 (外部評価) 家族からの意見は少ないが、真摯に受け止めており、対応に努めるとともに運営に反映させている。	※	苦情相談窓口については、ホーム内だけでなく公的な相談機関等も明示し、家族にも十分説明することが望まれる。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 職員の意見や提案は、ミーティングや個人面談で管理者又はホーム長が聞き、社長（運営者）に報告している。もしくは、社長への直接相談も聞き入れてもらえる。改善・アイデア提案書で、本社に意見を申し出る方法もある。提案者には、商品券が贈与されるシステムである。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 日勤3名の他に、月の約半分平日パート0.5人と看護師（4時間/日）と自由に動けるケアマネとホーム長を配置している。また、職員間でも打ち合わせを行っている。		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 努力している。 (外部評価) 職員の異動はやや多いが、ユニット間はあまり異動させず、異動がある時はあらかじめ説明しておくなど、利用者に与えるダメージを少なくするよう配慮している。	※	やむを得ない異動もあるが、管理者及び職員でよく話し合い、利用者の負担が少なくなるような工夫について今後も検討していくことを期待する。
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修会や講習会への参加は、会社が推奨していて、それに必要な費用を一部会社が負担してくれている。 (外部評価) 同法人内の内部研修は年3回行っている。外部研修については、必要と認めたものについて全額ホームが経費を負担し、勤務体制にも配慮しているが、今年度はあまり外部研修への参加は行っていない。	※	スキルアップのためにも、職員の研修について今後も積極的に取り組むことが望まれる。受講後は、報告書の作成やミーティングでの伝達など、研修内容を全職員が共有できるような工夫を期待する。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 近隣のグループホーム3ホームが、運営推進会議のメンバーに入っており、それぞれの会議に出席し意見の交換を行なっている。又、それぞれのホームの催し物には声を掛け合い、利用者を交えて交流している。 (外部評価) 近隣の他法人のグループホームと頻繁に交流している。お互いのイベントがある時は、利用者も一緒に参加して交流を深めている。運営推進会議にも出席し合って意見交換している。		
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) シフト決めは、できるだけ職員の希望を取り入れ、家庭との両立が容易にできるよう配慮している。職務中の休憩も、別室に畳の間やソファー、TVや冷蔵庫を用意し、くつろげる空間がある。		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 各種保険を完備しており、相談に応じる体制が整っている。 正社員への登用制度がある。 努力や実績により、昇給制度あり。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 入所前に事前面接を行い、ご本人の意見をよく聞き、入所後に安心して生活できる環境作りに努力している。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 入所前に事前面接を行い、ご家族の意見をよく聞き、入所後に安心して預けて頂ける環境作りに努力している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 当事業所のグループに、デイサービスや小規模多機能事業所があり、ご本人やご家族の希望に合った事業所を紹介している。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 居室への馴染みの家具等の持ち込みを自由にしており、極端な生活の変化に配慮している。 当ホームには、契約医療機関があるが、入所前の係り付けの医院を継続してもらうのを可能にしている。もちろん、通院や緊急時には、職員が対応する。 (外部評価) 事前に面接して話を聞き、生活環境等を把握するよう努めている。以前は自宅からの利用者が多かったが、最近では病院からの利用者が多くなったため病院にうかがうことが多く、自宅に訪問するケースは少ない。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 利用者の残存機能をできるだけ活用して、日常生活に必要な家事や作業を共に行なっている。 利用者に調理方法や味付けを教えてもらったりしている。 (外部評価) 昆布巻きを速く上手に作る方法など、利用者から料理等を教えてもらっている。さりげなく言ってもらえる利用者からの感謝の言葉に支えられることは多いと職員は感じている。		
28		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) ご家族が来所された時には、ホームでの生活の様子を撮った写真を一緒に観て、その時の様子等を一緒に話し合っている。 イベント時には、家族を招待している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 催し物には、ご家族を呼んで、利用者と一緒に楽しんでもらえるよう努力している。 入金は振込みではなく、できるだけ現金をホームに持って来ていただくようお願いしている。そうする事により、1回でも多くホームに来て頂くようにしている。	※	催し物の回数が少ないので、徐々に増やして行って、利用者がご家族と過ごせる時間を増やしていきたい。
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 利用者の友達や親戚、入所前に住んでいた所のご近所さん等、判る範囲で連絡先を記録して、連絡を取り合えるよう支援している。		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) Aユニットでは		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 長期入院、又は他施設へ移動されて退所となった利用者には、お見舞いに行ったり、訪問したりと、退所後も付き合いを続けている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 入所前面談にて、できるだけ詳しく把握、記録するよう努めている。 (外部評価) 本人との会話から思いを汲み取ったり、家族から情報を得たり、事前に得た情報などから一人ひとりの思いや希望を把握している。困難な場合は職員同士で話し合い、利用者の思いにそうよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 入所前面談にて、できるだけ詳しく把握、記録するよう努めている。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 入所前面談にて、できるだけ詳しく把握、記録するよう努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 利用者個人に介護・ケアプラン担当者を決めており、その担当者から意見を聞いた計画作成担当者がケアプランを作成し、ミーティングで全員と話し合い、決定している。 (外部評価) 毎日介護計画をチェックして、できていることなどを把握し、1か月毎に評価している。課題等は、各担当者が記入したものを管理者や計画作成担当者等が確認している。家族の意見も可能な限り反映させている。月1回のミーティングでも話し合い、3か月毎に更新している。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 見直しについても、その都度計画作成担当者が計画したケアプランを、担当者がチェックし、ミーティングにて決定して、ご家族に提示し最終決定をしている。 (外部評価) 3か月毎に家族に確認してもらっている。家族の来訪時には直接希望を聞くようにしている。月1回の話し合いで確認し、特別変化のない時は3か月で見直しをしている。変化が生じた場合はその都度話し合い、利用者本位に計画を作成している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) ケアプランチェック表にて個別に毎日チェックし、見直しに役立てている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 当ホームのグループに、デイサービス・託児所・小規模多機能等があり、各事業所で行なわれる催し物（音楽コンサートや落語、手品等）に参加できる。又、パワーリハビリ施設や学習療法があり、状況や要望に応じて、利用できる。 (外部評価) 家族の要望に応じて、受診には職員が付き添うことが多い。利用者が行きたい所へ行けるよう、できるだけ希望にそうようにしている。面会時間は制限せず、24時間いつでも面会できるようにするなど、柔軟な支援をしている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) ボランティア、消防（避難訓練等）、教育機関（まもるくんの家）等との協力体制がある。 最近では、地元PTAとの交流も増えてきている。		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 当ホームのグループに、デイサービス・小規模多機能・訪問介護事業所があり、その中には、パワーリハビリ施設や学習療法があり、状況や要望に応じて、利用できる。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 運営推進会議のメンバーにもなってもらっており、連絡は密に行ない、新規利用者の紹介もいただいている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 当ホームには、契約医療機関があるが、入所前の係り付けの医院を継続してもらうのを可能にしている。もちろん、通院や緊急時には、職員が対応している。 (外部評価) 利用者や家族の希望する医療機関を受診できるよう、職員が送迎する等の支援を行っている。緊急時にも適切に対応できるよう、協力医療機関との関係を築いている。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 専属の医療機関に、専門医師が配備され、必要に応じて、診察してもらっている。又、それでも対応できない場合は、紹介等で、対応してもらっている。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価)		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院した場合、病院にご家族だけでなく、当ホームの連絡先も登録してもらい、情報交換を行なっている。お見舞いは、管理者やホーム長だけでなく、職員も個別に訪問している。(規則ではないし、命令もしていない。)		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) ご家族や医療機関を交えて行なっている。 (外部評価) 終末期ケアに取り組む予定はあるが、マニュアルはまだ作成されていない。	※	運営者、管理者、職員、かかりつけ医など関係者で議論を重ねて対応指針やマニュアルを作成し、家族の協力も得ながらよりよいケアに取り組める体制を整備していくことを期待したい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 当ホームでは医療行為が、24時間体制で行えないので、難しい面はあるが、看れなくなったからといって、すぐに行き先を探すのではなく、できるだけ当ホームで過ごしてもらえる方法を、ご家族や医療機関と相談している。		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 移転時の協力支援は、契約書にも記載しており、利用者の意向やご家族の都合等を考慮して、何箇所も候補を提示して、選んでもらうよう支援している。又、入所交渉も行なう。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 居室におけるプライバシーの確保には十分配慮できている。個人記録は入居者や一般の方が見えにくい場所に保管してある。また、申し送りなどのときに入居者の名前を声に出さず、イニシャルなどで伝える等配慮は行なっている。 (外部評価) 書類の名前はイニシャルで表記したり、必要でない物には書かないようにしている。書類や写真などの取り扱いについて、本人や家族の理解を得ている。職員は、利用者のプライドやプライバシーに十分配慮した支援に努めている。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 本人の思いや希望を引き出せるように支援する一方、共同生活の弊害になることがあれば十分に説明し、理解に至るよう努めている。が、十分な自己決定支援ができていないか、意思が伝わらない利用者もいるので、難しい面もある。	※	昨年に引き続き、コミュニケーション技法について勉強会を開催したい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 生活のペースは概ね入居者の自由な決定に基づいている。起床や食事、ティータイムなどは、規則正しい生活が出来るよう時間を決めているが、散歩やお昼寝、入眠は、利用者の判断に任せている。 (外部評価) 利用者一人ひとりのペースを大切にしており、起床時間や食事のタイミング等も利用者の希望を最優先に考えたケアに努めている。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 更衣時、着衣の選択が出来るよう心掛けている。散髪は好みの店があればお連れし、特に希望がない場合や金銭的な負担が問題な場合は職員が定期的に行なっている。また、衣替えのための衣類整理も季節の変わり目を実施している。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 意欲や能力のある方は職員と一緒に食事作りが出来ている。また、あとかたづけも手伝ってくださる。意欲の無い利用者にも声掛けして、参加意欲が出るよう努力している。 (外部評価) 利用者の希望を聞き、リクエストに応えるようにしている。準備や片付けの手伝いができる人にはしてもらっている。できる限り自分で食べてもらえるよう、職員が見守っている。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 健康上の問題について医師とも相談しながら、その許容範囲内において嗜好支援を行なっている。玄関先に喫煙場所を確保し、空気清浄機を設置。居室での喫煙は防火のため禁止している。お茶の時間に飲む物は栄養と好みを反映してあるが選択権が広いとは言えない。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 日常の排泄記録からパターンを理解し、本人の排泄周期を配慮して出来る限りトイレで排泄できるよう心掛けている。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 入浴されるかどうかの選択権は個人にあるが、基本的には隔日、午後入浴のスタイルを取っており、個人の希望を確実に尊重しているとは言えない。 (外部評価) 1日おきに全員に入ってもらうことを基本としている。タイミングは本人の希望にそっているが、入浴を嫌がる利用者については職員が声かけなどを工夫して支援している。	※	出来るだけ本人の希望に合わせた入浴ができるよう支援したいが、全員を満足させるのは不可能かもしれない。
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 消灯時間を厳密には設定していないので、テレビを見たり本を読んだり、リビングでくつろいだりしながら入居者が異なる時間に入眠している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 清掃や洗濯など、個人の力に合わせた役割を持っていたいでいる。また、家事能力が低下している方にも、趣味を活かした時間の利用を心掛けており、生活の満足度を高められるよう努めている。 (外部評価) 掃除・洗濯・片付け等、利用者の負担にならないよう様子を見ながら役割を担ってもらっている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 買い物等の希望があれば、買い物に同行して極力自由に自分のお金を使えるよう配慮している。管理のために承諾を得てお金を預かる利用者も居るが、引出しは自由であり、支出も領収書、レシート等をノートに添付して明らかにしている。		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 天候や季節、本人の希望を考慮しながら、手の空いた職員が外出支援を適宜行なっている。 (外部評価) 利用者の希望を聞き、博物館や菊花展等に出かけている。墓参りや商店街の散策などもしている。買い物にスーパーや百貨店などに行くこともある。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 日常の散歩などのほかにも、自動車を利用して外出にお連れし、季節感を味わっていただけるよう支援している。 大きなイベント時には、家族にも招待状を送付して、来ていただけるよう努力している。	※	なかなか家族がイベントに参加してもらえないので、どうすれば、参加してもらえるかを考えていきたい。
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 電話をかけたり手紙を出したりする事に制限は設けていない。希望があればそれに沿うよう支援を行なっている。		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 他の入居者に迷惑のかからない時間帯であれば、いつ訪問していただいても構わないよう、決まった面会時間は設けていない。来客専用のスペースは設けていないが、共用スペースでも個室でも、自由に使っていただく事が可能である。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束の正しい理解について学習の機会を会議等で設け、職員理解も進んでいると思われ、やむを得ないケース(事故防止のためのベッド柵)を除いて、拘束事由は無い。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 居室に鍵をかけることは一日を通して無い。玄関は夜間のみ施錠、日中は施錠しない。 (外部評価) 管理者及び職員は鍵をかけないケアについて理解しており、日中は鍵をかけていない。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 入居者が単独で外出しないよう居場所の確認はプライバシーを侵害しない範囲で常時行っている。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 物品をなくしてしまわなければ、異食、収集などによって害を被るようなものは現状無いので(そういった行動を取る入居者がいらっしやらないので)、現在は特別な取り組みが無い。	※	今後、事業主と相談して危険箇所(段差や車椅子で利用できる洗面台等)の改修を行っていく。
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 事故や災害についての知識は、定例会議などで勉強の機会があるので、取り組んでいると思われる。		


自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 心肺蘇生法などの応急処置講習への参加を常に呼びかけ、知識の普及に努めている。また、緊急事態発生時のマニュアルを配布し、電話機付近にも掲示してある。24時間対応病院と連携している。		
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 職員会議などで緊急時の避難方法を伝達している。運営推進会議で地域の方への協力を呼びかけている。年2回消防署を交えて、非難・消火訓練を実施している。	※	年2回だけでなく、職員だけでの訓練も行っていく。
			(外部評価) 年2回消防署の協力を得ながら避難訓練を実施している。近くに民家が少ないが、隣のマンションの住民でPTA活動をしている方たちが協力してくれている。	※	裏口には段差があるので、避難する場合には転倒等による事故が起きないように配慮しながら、あらゆる場面を想定した訓練を期待したい。また、マニュアルや緊急連絡網を電話の近くに掲示して緊急時に備えておくことも期待したい。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 快適な暮らしを提供していく過程で、事故発生の可能性があることは入居前にも十分説明して、その上で個々に合わせた対応を話し合っているし、入居後状態の悪化により、予想されるリスクについて、家族とは随時話し合っている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 毎朝のバイタルチェックを欠かさず、また普段と違う場合は看護師や医師の協力のもと、最適な対処を行えるようにしている。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 誤薬や飲み忘れなどが無いよう服薬支援には十分注意しているが、薬の内容については看護師及び一部の職員の理解に留まり、介護職員への周知徹底には至っていない。	※	薬の内容について周知できるよう、方法を検討したい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 十分な水分摂取を心掛けつとともに、慢性的な便秘に対しては腸運動を促進できるような飲料摂取を試み、医師や看護師とも連携しながら便秘改善に取り組んでいる。	※	利用者のやる気次第で大きく差が発生するので、やる気の無い利用者を、いかに運動不足解消に向けた取り組みができるかを考えていきたい。
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 義歯洗浄や口腔ケアを毎日実施している。が、全員が毎食後（一日3回）とは言えない。	※	毎食後の実施を検討する。また、口腔ケアに対する著しい抵抗がある方への対応を考える。
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 水分摂取が出来ているかチェックシートで確認し、病状に合わせた個別の水分摂取を考慮している。血液検査を定期的に行い、栄養状態について医師、看護師と相談の上、飲料、食事などでバランス維持に努めている。 (外部評価) 水分チェックは100ccごとに1リットルの摂取を目標にしている。献立表は作っておらず、その日の利用者の希望や食材の都合等により、調理後に記録している。栄養バランスについては、血液検査等を参考にしている。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) ウィルス対策に効果のある消毒液を導入し、食前の手指消毒及び、トイレや手摺りの除菌に取り組んでいる。面会者にも、玄関の外で注意書きを読んでもらい、入室の際には、手消毒・マスク着用をお願いしている。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 上記消毒液や市販の塩素漂白剤での調理用具の除菌に取り組んでいる。水道水は浄水して使用している。食材は短期間で使用できる量を購入している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 玄関まわりで花を育て、飼っている二匹の犬を見に近隣の人は集まってくることもある。最近では、隣接する公園で遊ぶ子どもたちが、気兼ねなくトイレを借りに来たり、傷の手当に来たりしている。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 常時生け花を生けて季節感を出すよう努力している。今の時期はキンモクセイを生けて、香りも楽しんでもらっている。 早く入眠される入居者の居室のリビング側の窓には、利用者の希望により、シールドを貼ったりして対処している。 (外部評価) 温度や湿度には常に配慮しており、気になるにおいもない。クラシックの音楽などをBGMとして流しており、ゆったりとした気分で過ごせている。クリスマス等の季節ごとの飾りを作って飾るなどしており、暖かい雰囲気がある。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) テレビ周囲のスペースが比較的のびのびと利用でき、入居者間の交流に役立っているが、一人になれるような場所は現状喫煙スペースくらいで、全員に対して共通な固有スペースの確保は出来ていない。	※	共有の畳の間等がほしいが、スペース的に無理がある。事業主と相談していきたい。
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 本人が使用していた馴染みの家具を持ち込むことは制限していない。居室の利用については共同生活に支障の無い範囲において自由である。 (外部評価) 使い慣れたものを持ち込んで好きなように配置している。孫など家族が来て長い時間を過ごすこともあり、炬燵を部屋に入れて温かい部屋にしている方もいる。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 玄関と勝手口を日中開放することで空気の流れを作っている。共用スペース、居室の室温は空調の過剰使用によって外気との極端な温度差が出ないように管理されている。喫煙スペースは空気清浄機を設置している。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 手すりはすべての壁面に設置されている。動線の障害にも極力注意して、個々の身体機能を活かして生活できるようにしている。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 居室に目印をつけ、部屋に帰るときに迷わないよう支援している。		
87		○建物の外周リや空間の活用 建物の外周リやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 玄関口のベンチで休憩しながら外を眺めることが出来る。裏庭には、小さな畑を作っており、季節に合った野菜を収穫できるようにしている。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目			
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	1 ほぼ全ての利用者の (自己 ② 利用者の2/3くらいの 評価) 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	全員の意向や願いを掴みたいと思う一方、コミュニケーションがうまく取れず、家族ともつながりが薄くなってしまった入居者の意向を掴みきれないという現実がある。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	(自己 ① 毎日ある 評価) 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	お茶の時間はともにテーブルにつき、話ができるようにしている。散歩などに出かけて公園で話をしたりする時間も取れている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	(自己 1 ほぼ全ての利用者が 評価) 2 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	2/3くらいの利用者が、ご自分で生活のペースを作れない方なので、スタッフが生活のリズムを作っている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	(自己 1 ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	そうあるように日々努力しているが、疾患や生活歴の影響もあり、努力したとおりに全員から良い結果が返ってくるとは限らないのが現状である。
92	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている	(自己 1 ほぼ全ての利用者が 評価) 2 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	「行きたいところ」が支援できる範囲であれば当然外出支援するが、身体状況や金銭問題等で実現が難しい場合や、行きたいところの意思表示ができない方、あるいは外出を好まない方などを含めると、1/3くらいにとどまる。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	定期的な通院は欠かさず、外出が困難な方の場合には往診も月に2回行っている。看護師への相談体制も確立しており、24時間対応の病院協力もあり不安は解消できている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	管理者や計画作成者など、業務に拘束の少ないスタッフも配置されている為、ある程度の要望には対応できている。(共同生活に著しく支障がある場合をのぞいて)
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができていく	(自己 1 ほぼ全ての家族と 評価) ② 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	関係の持続している家族とは訪問時や電話にて、遠慮なく話ができる体制が出来ている。が、家族関係が希薄になっていて、ほとんどホームに来られなく、連絡も取れない家族様もいるので、完全とは言えない。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	(自己 1 ほぼ毎日のように 評価) ② 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	家族の訪問はよくある。地域の方は犬を見に来たついでに利用者で交流したりしている。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	① 大いに増えている (自己 2 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	運営推進会議にて、地域の方々と親しくなったおかげで、地元の行事にお呼びが掛かったり、狭い駐車場で行った夏祭りを、町内会長さんのご尽力で、隣接する公園をお借りすることができ、地元の方々もいっぱい来てもらえた。開催後、地元のPTAの方から、「来年はお手伝いするすることがあったら言ってください。」と声を掛けて下さった。
98	職員は、生き活きと働いている	1 ほぼ全ての職員が (自己 ② 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	意見が言いにくいような職場環境ではないので、問題については話し合いながら働いているが、一部には人間関係で悩んでいるスタッフが居るのは事実。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	個人の状態に差異はあっても、全員の満足が得られるように支援している。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての家族等が (自己 ② 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	現在のところ苦情もなく、お会いしても不満は聞かれないので、(あるいは多少の不満は相談の上、すぐ解消に向けて取り組んでいるので) おおむね満足していただけているものと理解している。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

当グループには、グループホームの他に、デイサービス（老人/小児）・託児所・小規模多機能があり、それぞれの催し物等に参加できる体制が構築されており、交流を深めている。

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
 - 各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
 - 「取組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホームあゆーら

(ユニット名) Bユニット

記入者(管理者)
氏名 管理者・河内望/ホーム長・大野定治

評価完了日 平成 20 年 10 月 15 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 笑顔、挨拶を通じて、地域住民との交流を深める一環として、昨年より夏祭りを開催している。雨が降ったにもかかわらず、昨年を上回る人出で大成功であった。 (外部評価) 「笑顔の絶えない家づくり」という理念を実行するためには、ホーム内の生活だけでは不可能であり、「地域の中での生活」を支援することにつながると捉えている。言葉として「地域」は入っていないが、職員全員が理念の意味を理解している。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 毎月一回実施されるミーティングにて、理念・目標を確認し合い、実践に取り組んでいる。 (外部評価) 各ユニットの壁に掲示し、朝の申し送り時やミーティング時等に確認し合っている。地域の中でその人らしく暮らしていくケアの実践のため、日々の取り組みを具体化することが望まれる。	※	理念を実践するための具体的な目標を立て、その中に地域の中での暮らしという視点を盛り込んでいくことを期待する。
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) グループホーム便りや、パンフレットに載せたりして、運営推進会議で紹介したり、ホーム入り口の目立つところに掲示して、理解を促している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) ホームに隣接した公園で遊ぶ子どもやその親御さんが、トイレを借りに来たり、怪我の治療に来たりして、気軽に声を掛けていただけるようになった。		
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 町内会に加入しており、回覧版を回したり、会合に参加したりしている。町内会長さんとも親しくさせていただき、ホームの夏祭りの場所として、区で管理している公園を貸していただいた。 (外部評価) 町内会長を通じて、また運営推進会議などで地域の情報をもらっている。地区の行事は案内してもらっているので、積極的に参加するようにしている。		
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 法人として、デイサービス・小規模多機能・介護タクシー等の福祉サービスを運営しているので、当ホームを窓口として地域住民の相談を受け付けている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 評価は職員全員で取り組んでおり、意見交換ができる体制をとっている。 (外部評価) ホームの現状を把握するためのいい機会として捉え、日々の振り返りとして取り組んでいる。改善点については、ミーティングや運営推進会議等で意見を聞いている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 前回の評価確定後の運営推進会議で議題にあげ、報告し話し合い、メンバーさんから、地元との関わりには、惜しみなく協力する等のありがたいお言葉をいただいた。 (外部評価) 地区の行事など、地域の情報収集の場として活用している。近隣のグループホームからも参加してくれるので、同業者の意見を聞く場ともなっている。		
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 市が主催する研修会には、すすんで参加するようにしている。 (外部評価) 研修会の案内があったり、困ったに時は指導や助言があるなど、密に連携が取れる関係を構築している。	※	今後、ホームに来てもらえる機会をつくっていききたい。
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 研修会や説明会に参加し、学ぶ機会を作っていて、必要であれば、活用できるよう準備している。 今現在は、活用している利用者は居ない。		
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) ミーティング等で、事例等を参考にして話し合いを行い、虐待防止を徹底している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 行なっている。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 利用者の意見、不満、苦情は、職員が必ず申し送りノートに記入し、毎朝の申し送りにて話し合いをする。重要な場合には直接、管理者・ホーム長に伝えて対処している。		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 毎月、請求書と一緒に、近況報告・受診状況（健康状態）ホーム便り（2ヶ月分の活動やイベントの写真掲載）を同封して報告している。 (外部評価) 利用者の健康状態や日々の暮らしぶりなどを、毎月請求書とともに書類で報告している。変化があればその都度電話などで連絡している。金銭管理については領収書等を個別に整理し、適切に管理している。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 意見、不満、苦情を申し出る場を契約書に明記している。また、ホームにも窓口、担当者を掲示している。 (外部評価) 家族からの意見は少ないが、真摯に受け止めており、対応に努めるとともに運営に反映させている。	※	苦情相談窓口については、ホーム内だけでなく公的な相談機関等も明示し、家族にも十分説明することが望まれる。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 職員の意見や提案は、ミーティングや個人面談で管理者又はホーム長が聞き、社長（運営者）に報告している。もしくは、社長への直接相談も聞き入れてもらえる。改善・アイデア提案書で、本社に意見を申し出る方法もある。提案者には、商品券が贈与されるシステムである。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 日勤3名の他に、月の約半分平日パート0.5人と看護師（4時間/日）と自由に動けるケアマネとホーム長を配置している。また、職員間でも打ち合わせを行っている。		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 努力している。 (外部評価) 職員の異動はやや多いが、ユニット間はあまり異動させず、異動がある時はあらかじめ説明しておくなど、利用者にも与えるダメージを少なくするよう配慮している。	※	やむを得ない異動もあるが、管理者及び職員でよく話し合い、利用者の負担が少なくなるような工夫について今後も検討していくことを期待する。
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修会や講習会への参加は、会社が推奨していて、それに必要な費用を一部会社が負担してくれている。 (外部評価) 同法人内の内部研修は年3回行っている。外部研修については、必要と認めたものについて全額ホームが経費を負担し、勤務体制にも配慮しているが、今年度はあまり外部研修への参加は行っていない。	※	スキルアップのためにも、職員の研修について今後も積極的に取り組むことが望まれる。受講後は、報告書の作成やミーティングでの伝達など、研修内容を全職員が共有できるような工夫を期待する。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 近隣のグループホーム3ホームが、運営推進会議のメンバーに入っており、それぞれの会議に出席し意見の交換を行なっている。又、それぞれのホームの催し物には声を掛け合い、利用者を交えて交流している。 (外部評価) 近隣の他法人のグループホームと頻繁に交流している。お互いのイベントがある時は、利用者も一緒に参加して交流を深めている。運営推進会議にも出席し合って意見交換している。		
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) シフト決めは、できるだけ職員の希望を取り入れ、家庭との両立が容易にできるよう配慮している。職務中の休憩も、別室に畳の間やソファ、TVや冷蔵庫を用意し、くつろげる空間がある。		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 各種保険を完備しており、相談に応じる体制が整っている。 正社員への登用制度がある。 努力や実績により、昇給制度あり。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 入所前に事前面接を行い、ご本人の意見をよく聞き、入所後に安心して生活できる環境作りに努力している。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 入所前に事前面接を行い、ご家族の意見をよく聞き、入所後に安心して預けて頂ける環境作りに努力している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 当事業所のグループに、デイサービスや小規模多機能事業所があり、ご本人やご家族の希望に合った事業所を紹介している。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 居室への馴染みの家具等の持ち込みを自由にしており、極端な生活の変化に配慮している。 当ホームには、契約医療機関があるが、入所前の係り付けの医を継続してもらうのを可能にしている。もちろん、通院や緊急時には、職員が対応する。 (外部評価) 事前に面接して話を聞き、生活環境等を把握するよう努めている。以前は自宅からの利用者が多かったが、最近では病院からの利用者が多くなったため病院にうかがうことが多く、自宅に訪問するケースは少ない。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 利用者の残存機能をできるだけ活用して、日常生活に必要な家事や作業を共に行なっている。 利用者に調理方法や味付けを教えてもらったりしている。 (外部評価) 昆布巻きを速く上手に作る方法など、利用者から料理等を教えてもらっている。さりげなく言ってもらえる利用者からの感謝の言葉に支えられることは多いと職員は感じている。		
28		○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) ご家族が来所された時には、ホームでの生活の様子を撮った写真を一緒に観て、その時の様子等を一緒に話している。 イベント事には、家族を招待している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 催し物には、ご家族を呼んで、利用者と一緒に楽しんでもらえるよう努力している。 入金は振込みではなく、できるだけ現金をホームに持って来ていただくようお願いしている。そうする事により、1回でも多くホームに来て頂くようにしている。	※	催し物の回数が少ないので、徐々に増やして行って、利用者がご家族と過ごせる時間を増やしていきたい。
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 利用者の友達や親戚、入所前に住んでいた所のご近所さん等、判る範囲で連絡先を記録して、連絡を取り合えるよう支援している。		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 利用者同士で相性が合う、合わないがどうしても出てきます。机の配置を変えたり、ソファの座る位置を変えたりと、できるだけ皆が、同じフロアに居れる空間造りに努力している。		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 長期入院、又は他施設へ移動されて退所となった利用者には、お見舞いに行ったり、訪問したりと、退所後も付き合いを続けている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 入所前面談にて、できるだけ詳しく把握、記録するよう努めている。 (外部評価) 本人との会話から思いを汲み取ったり、家族から情報を得たり、事前に得た情報などから一人ひとりの思いや希望を把握している。困難な場合は職員同士で話し合い、利用者の思いにそうよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 入所前面談にて、できるだけ詳しく把握、記録するよう努めている。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 入所前面談にて、できるだけ詳しく把握、記録するよう努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 利用者個人に介護・ケアプラン担当者を決めており、その担当者から意見を聞いた計画作成担当者がケアプランを作成し、ミーティングで全員と話し合い、決定している。 <hr/> (外部評価) 毎日介護計画をチェックして、できていることなどを把握し、1か月毎に評価している。課題等は、各担当者が記入したものを管理者や計画作成担当者等が確認している。家族の意見も可能な限り反映させている。月1回のミーティングでも話し合い、3か月毎に更新している。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 見直しについても、その都度計画作成担当者が計画したケアプランを、担当者がチェックし、ミーティングにて決定して、ご家族に提示し最終決定をしている。 <hr/> (外部評価) 3か月毎に家族に確認してもらっている。家族の来訪時には直接希望を聞くようにしている。月1回の話し合いで確認し、特別変化のない時は3か月で見直しをしている。変化が生じた場合はその都度話し合い、利用者本位に計画を作成している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) ケアプランチェック表にて個別に毎日チェックし、見直しに役立てている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 当ホームのグループに、デイサービス・託児所・小規模多機能等があり、各事業所で行なわれる催し物（音楽コンサートや落語、手品等）に参加できる。又、パワーリハビリ施設や学習療法があり、状況や要望に応じて、利用できる。 (外部評価) 家族の要望に応じて、受診には職員が付き添うことが多い。利用者が行きたい所へ行けるよう、できるだけ希望にそうようにしている。面会時間は制限せず、24時間いつでも面会できるようにするなど、柔軟な支援をしている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) ボランティア、消防（避難訓練等）、教育機関（まもるくんの家）等との協力体制がある。 最近では、地元PTAとの交流も増えてきている。		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 当ホームのグループに、デイサービス・小規模多機能・訪問介護事業所があり、その中には、パワーリハビリ施設や学習療法があり、状況や要望に応じて、利用できる。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 運営推進会議のメンバーにもなってもらっており、連絡は密に行ない、新規利用者の紹介もいただいている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 当ホームには、契約医療機関があるが、入所前の係り付けの医院を継続してもらうのを可能にしている。もちろん、通院や緊急時には、職員が対応している。 (外部評価) 利用者や家族の希望する医療機関を受診できるよう、職員が送迎する等の支援を行っている。緊急時にも適切に対応できるよう、協力医療機関との関係を築いている。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 専属の医療機関に、専門医師が配備され、必要に応じて、診察してもらっている。又、それでも対応できない場合は、紹介等で、対応してもらっている。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価)		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院した場合、病院にご家族だけでなく、当ホームの連絡先も登録してもらい、情報交換を行なっている。お見舞いは、管理者やホーム長だけでなく、職員も個別に訪問している。(規則ではないし、命令もしていない。)		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) ご家族や医療機関を交えて行なっている。 (外部評価) 終末期ケアに取り組む予定はあるが、マニュアルはまだ作成されていない。	※	運営者、管理者、職員、かかりつけ医など関係者で議論を重ねて対応指針やマニュアルを作成し、家族の協力も得ながらよりよいケアに取り組める体制を整備していくことを期待したい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 当ホームでは医療行為が、24時間体制で行えないので、難しい面はあるが、看れなくなったからといって、すぐに行き先を探すのではなく、できるだけ当ホームで過ごしてもらえる方法を、ご家族や医療機関と相談している。		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 移転時の協力支援は、契約書にも記載しており、利用者の意向やご家族の都合等を考慮して、何箇所も候補を提示して、選んでもらうよう支援している。又、入所交渉も行なう。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 居室におけるプライバシーの確保には十分配慮できている。個人記録は入居者や一般の方が見えにくい場所に保管してある。また、申し送りなどのときに入居者の名前を声に出さず、イニシャルなどで伝える等配慮は行なっている。 (外部評価) 書類の名前はイニシャルで表記したり、必要でない物には書かないようにしている。書類や写真などの取り扱いについて、本人や家族の理解を得ている。職員は、利用者のプライドやプライバシーに十分配慮した支援に努めている。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 本人の思いや希望を引き出せるように支援する一方、共同生活の弊害になることがあれば十分に説明し、理解に至るよう努めている。が、十分な自己決定支援ができていないか、意思が伝わらない利用者もいるので、難しい面もある。	※	昨年に引き続き、コミュニケーション技法について勉強会を開催したい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 生活のペースは概ね入居者の自由な決定に基づいている。起床や食事、ティータイムなどは、規則正しい生活が出来るよう時間を決めているが、散歩やお昼寝、入眠は、利用者の判断に任せている。 (外部評価) 利用者一人ひとりのペースを大切にしており、起床時間や食事のタイミング等も利用者の希望を最優先に考えたケアに努めている。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 更衣時、着衣の選択が出来るよう心掛けている。散髪は好みの店があればお連れし、特に希望がない場合や金銭的な負担が問題な場合は職員が定期的に行なっている。また、衣替えのための衣類整理も季節の変わり目を実施している。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 意欲や能力のある方は職員と一緒に食事作りが出来ている。また、あとかたづけも手伝ってくださる。意欲の無い利用者にも声掛けして、参加意欲が出るよう努力している。 (外部評価) 利用者の希望を聞き、リクエストに応えるようにしている。準備や片付けの手伝いができる人にはしてもらっている。できる限り自分で食べてもらえるよう、職員が見守っている。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 健康上の問題について医師とも相談しながら、その許容範囲内において嗜好支援を行なっている。玄関先に喫煙場所を確保し、空気清浄機を設置。居室での喫煙は防火のため禁止している。お茶の時間に飲む物は栄養と好みを反映してあるが選択権が広いとは言えない。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 日常の排泄記録からパターンを理解し、本人の排泄周期を配慮して出来る限りトイレで排泄できるよう心掛けている。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 入浴されるかどうかの選択権は個人にあるが、基本的には隔日、午後入浴のスタイルを取っており、個人の希望を確実に尊重しているとは言えない。 (外部評価) 1日おきに全員に入ってもらうことを基本としている。タイミングは本人の希望にそっているが、入浴を嫌がる利用者については職員が声かけなどを工夫して支援している。	※	出来るだけ本人の希望に合わせた入浴ができるよう支援したいが、全員を満足させるのは不可能かもしれない。
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 消灯時間を厳密には設定していないので、テレビを見たり本を読んだり、リビングでくつろいだりしながら入居者が異なる時間に入眠している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 清掃や洗濯など、個人の力に合わせた役割を持っていたいでいる。また、家事能力が低下している方にも、趣味を活かした時間の利用を心掛けており、生活の満足度を高められるよう努めている。 (外部評価) 掃除・洗濯・片付け等、利用者の負担にならないよう様子を見ながら役割を担ってもらっている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 買い物等の希望があれば、買い物に同行して極力自由に自分のお金を使えるよう配慮している。管理のために承諾を得てお金を預かる利用者も居るが、引出しは自由であり、支出も領収書、レシート等をノートに添付して明らかにしている。		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ぎず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 天候や季節、本人の希望を考慮しながら、手の空いた職員が外出支援を適宜行なっている。 (外部評価) 利用者の希望を開き、博物館や菊花展等に出かけている。墓参りや商店街の散策などもしている。買い物にスーパーや百貨店などに行くこともある。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 日常の散歩などのほかにも、自動車を利用して外出にお連れし、季節感を味わっていただけるよう支援している。 大きなイベント時には、家族にも招待状を送付して、来ていただけるよう努力している。	※	なかなか家族がイベントに参加してもらえないので、どうすれば、参加してもらえるかを考えていきたい。
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 電話をかけたり手紙を出したりする事に制限は設けていない。希望があればそれに沿うよう支援を行なっている。		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 他の入居者に迷惑のかからない時間帯であれば、いつ訪問していただいても構わないよう、決まった面会時間は設けていない。来客専用のスペースは設けていないが、共用スペースでも個室でも、自由に使っていただく事が可能である。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束の正しい理解について学習の機会を会議等で設け、職員理解も進んでいると思われ、やむを得ないケース(事故防止のためのベッド柵)を除いて、拘束事由は無い。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 居室に鍵をかけることは一日を通して無いが、Bユニットには、重度の徘徊される利用者が居るので、安全を優先して、柵を設置している。 玄関は夜間のみ施錠、日中は施錠しない。 (外部評価) 管理者及び職員は鍵をかけないケアについて理解しており、日中は鍵をかけていない。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 入居者が単独で外出しないよう居場所の確認はプライバシーを侵害しない範囲で常時行っている。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 物品をなくしてしまわなければ、異食、収集などによって害を被るようなものは現状無いので(そういった行動を取る入居者がいらっしやらないので)、現在は特別な取り組みが無い。	※	今後、事業主と相談して危険箇所(段差や車椅子で利用できる洗面台等)の改修を行っていく。
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 事故や災害についての知識は、定例会議などで勉強の機会があるので、取り組んでいると思われる。 転倒を繰り返される利用者には、色気の無い保護帽ではなく、ニット帽に似た保護帽子を被って頂いている。		


自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 心肺蘇生法などの応急処置講習への参加を常に呼びかけ、知識の普及に努めている。また、緊急事態発生時のマニュアルを配布し、電話機付近にも掲示してある。24時間対応病院と連携している。		
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 職員会議などで緊急時の避難方法を伝達している。運営推進会議で地域の方への協力を呼びかけている。年2回消防署を交えて、非難・消火訓練を実施している。 (外部評価) 年2回消防署の協力を得ながら避難訓練を実施している。近くに民家が少ないが、隣のマンションの住民でPTA活動をしている方たちが協力してくれている。	※	年2回だけでなく、職員だけでの訓練も行っていく。 裏口には段差があるので、避難する場合には転倒等による事故が起きないように配慮しながら、あらゆる場面を想定した訓練を期待したい。また、マニュアルや緊急連絡網を電話の近くに掲示して緊急時に備えておくことも期待したい。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 快適な暮らしを提供していく過程で、事故発生の可能性があることは入居前にも十分説明して、その上で個々に合わせた対応を話し合っているし、入居後状態の悪化により、予想されるリスクについて、家族とは随時話し合っている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 毎朝のバイタルチェックを欠かさず、また普段と違う場合は看護師や医師の協力のもと、最適な対処を行えるようにしている。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 誤薬や飲み忘れなどが無いよう服薬支援には十分注意しているが、薬の内容については看護師及び一部の職員の理解に留まり、介護職員への周知徹底には至っていない。	※	薬の内容について周知できるよう、方法を検討したい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 十分な水分摂取を心掛けつとともに、慢性的な便秘に対しては腸運動を促進できるような飲料摂取を試み、医師や看護師とも連携しながら便秘改善に取り組んでいる。	※	利用者のやる気次第で大きく差が発生するので、やる気の無い利用者を、いかに運動不足解消に向けた取り組みができるかを考えていきたい。
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 義歯洗浄や口腔ケアを毎日実施している。が、全員が毎食後（一日3回）とは言えない。	※	毎食後の実施を検討する。また、口腔ケアに対する著しい抵抗がある方への対応を考える。
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 水分摂取が出来ているかチェックシートで確認し、病状に合わせた個別の水分摂取を考慮している。血液検査を定期的に行い、栄養状態について医師、看護師と相談の上、飲料、食事などでバランス維持に努めている。 (外部評価) 水分チェックは100ccごとに1リットルの摂取を目標にしている。献立表は作っておらず、その日の利用者の希望や食材の都合等により、調理後に記録している。栄養バランスについては、血液検査等を参考にしている。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) ウイルス対策に効果のある消毒液を導入し、食前の手指消毒及び、トイレや手摺りの除菌に取り組んでいる。面会者にも、玄関の外で注意書きを読んでもらい、入室の際には、手消毒・マスク着用をお願いしている。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 上記消毒液や市販の塩素漂白剤での調理用具の除菌に取り組んでいる。水道水は浄水して使用している。食材は短期間で使用できる量を購入している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 玄関まわりで花を育て、飼っている二匹の犬を見に近隣の人は集まってくることもある。最近では、隣接する公園で遊ぶ子どもたちが、気兼ねなくトイレを借りに来たり、傷の手当に来たりしている。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 常時生け花を生けて季節感を出すよう努力している。今の時期はキンモクセイを生けて、香りも楽しんでもらっている。 早く入眠される入居者の居室のリビング側の窓には、利用者の希望により、シールドを貼ったりして対処している。 (外部評価) 温度や湿度には常に配慮しており、気になるにおいもない。クラシックの音楽などをBGMとして流しており、ゆったりとした気分で過ごせている。クリスマス等の季節ごとの飾りを作って飾るなどしており、暖かい雰囲気がある。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) テレビ周囲のスペースが比較的のびのびと利用でき、入居者間の交流に役立っているが、一人になれるような場所は現状喫煙スペースくらいで、全員に対して共通な固有スペースの確保は出来ていない。	※	共有の量の間等がほしいが、スペース的に無理がある。事業主と相談していきたい。
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 本人が使用していた馴染みの家具を持ち込むことは制限していない。居室の利用については共同生活に支障のない範囲において自由である。 (外部評価) 使い慣れたものを持ち込んで好きなように配置している。孫など家族が来て長い時間を過ごすこともあり、炬燵を部屋に入れて温かい部屋にしている方もいる。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 玄関と勝手口を日中開放することで空気の流れを作っている。共用スペース、居室の室温は空調の過剰使用によって外気との極端な温度差が出ないように管理されている。喫煙スペースは空気清浄機を設置している。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 手すりはすべての壁面に設置されている。動線の障害にも極力注意して、個々の身体機能を活かして生活できるようになっている。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 居室に目印をつけ、部屋に帰るときに迷わないよう支援している。		
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 玄関口のベンチで休憩しながら外を眺めることが出来る。裏庭には、小さな畑を作っており、季節に合った野菜を収穫できるようにしている。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目			
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	1 ほぼ全ての利用者の (自己 ② 利用者の2/3くらいの 評価) 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	全員の意向や願いを掴みたいと思う一方、コミュニケーションがうまく取れず、家族ともつながりが薄くなってしまった入居者の意向を掴みきれないという現実がある。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	(自己 ① 毎日ある 評価) 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	お茶の時間はともにテーブルにつき、話ができるようにしている。散歩などに出かけて公園で話をしたりする時間も取れている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	(自己 1 ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	1/3くらいの利用者が、ご自分で生活のペースを作れない方なので、スタッフが生活のリズムを作っている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	(自己 1 ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	そうあるように日々努力しているが、疾患や生活歴の影響もあり、努力したとおりに全員から良い結果が返ってくるとは限らないのが現状である。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	(自己 1 ほぼ全ての利用者が 評価) 2 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	「行きたいところ」が支援できる範囲であれば当然外出支援するが、身体状況や金銭問題等で実現が難しい場合や、行きたいところの意思表示ができない方、あるいは外出を好まない方などを含めると、1/3くらいにとどまる。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	(自己 1 ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	定期的な通院は欠かさず、外出が困難な方の場合には往診も月に2回行っている。看護師への相談体制も確立しており、24時間対応の病院協力もあり不安は解消できている。問題なのは、当ホームの契約医院(24時間対応)外で診察している利用者は、時間外の診察ができないという不安要素はある。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	管理者や計画作成者など、業務に拘束の少ないスタッフも配置されている為、ある程度の要望には対応できている。(共同生活に著しく支障がある場合をのぞいて)
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができていく	(自己 ① ほぼ全ての家族と 評価) 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	ほぼ全ての家族とは訪問時や電話にて、遠慮なく話をできる体制が出来ている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	(自己 1 ほぼ毎日のように 評価) ② 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	家族の訪問はよくある。地域の方は犬を見に来たついでに利用者とは交流したりしている。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	① 大いに増えている (自己 2 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	運営推進会議にて、地域の方々と親しくなったおかげで、地元の行事にお呼びが掛かったり、狭い駐車場で行った夏祭りを、町内会長さんのご尽力で、隣接する公園をお借りすることができ、地元の方々もいっぱい来てもらえた。開催後、地元の方から、「来年はお手伝いするすることがあったら言ってください。」と声を掛けて下さった。
98	職員は、生き活きと働いている	1 ほぼ全ての職員が (自己 ② 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	意見が言いにくいような職場環境ではないので、問題については話し合いながら働いているが、一部には人間関係で悩んでいるスタッフが居るのは事実。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	個人の状態に差異はあっても、全員の満足が得られるように支援している。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての家族等が (自己 ② 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	現在のところ苦情もなく、お会いしても不満は聞かれないので、(あるいは多少の不満は相談の上、すぐ解消に向けて取り組んでいるので) おおむね満足していただけているものと理解している。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

当グループには、グループホームの他に、デイサービス（老人/小児）・託児所・小規模多機能があり、それぞれの催し物等に参加できる体制が構築されており、交流を深めている。